

# 組織目標管理シート

年 度	令和4年度
組 織 名	西蒲区社会福祉協議会
組織の方針	住民が地域における福祉課題について関心をもち、福祉課題に参加する住民主体による「お互い様の地域づくり」の実現に向け、関係機関・団体と連携、協働し「地域人材の発掘・育成、活躍の場の提供」を推進していきます。

作成日	平成34年5月23日
修正日	
評価日	

No.	ビジョン 基本目標	組織目標	指標					主な取り組み内容	目標達成状況 未達成理由	評価
			項目	R2 実績	R3 実績	R4 目標	R4 結果			
1	基本目標 1	地域に関わる多様な構成員と協働し、西蒲区地域福祉活動計画を推進します。	地域福祉座談会もしくはアンケート等実施回数	9地区18回	6地区7回	9地区9回		地域福祉座談会もしくは地域住民の意見を把握する住民アンケート等の実施	地域福祉活動計画の地区別計画の具体化に向けて、令和3年度の話し合い結果やアンケート結果を踏まえて、コミ協単位の9地区において、座談会や再度のアンケート調査等を行い、意見集約を行っていきます。	
2	基本目標 1	地域福祉の担い手となる人材の育成を進めます。	地域福祉活動応援協力員の育成		合同集合研修会の開催			今年度は6地区12人について育成を継続実施 推薦を得られなかった3地区については、育成状況を見たとうえで、改めてコミ協等に相談	「次世代の人材育成」「地域福祉のつなぎと育成」を目指し、地域福祉活動応援協力員を育成し、地域福祉活動計画推進の担い手を増やしていきます。令和4年度は、関係機関との顔合わせや座談会への参加で地域福祉実践を積んだ後、推薦母体のコミ協や地区社協に送り返すことを目指します。	
3	基本目標 2	複雑多様化した福祉ニーズに対し、多機関と協働し包括的な支援を行うことで課題解決を目指します。	CSW・生きづらさを抱えた方の支援事業と連動した関係機関連絡会議の開催	1回	1回	1回 (参加依頼を民生委員児童委員、SC、福祉施設、地域コーディネーター等に拡張)		参加依頼と同時にアンケート(所属で可能なこと、不足していること、ネットワークにより連携したいこと)を行い、当日の会議および今後の事業展開の参考とする。	西蒲区の生きづらさ支援における関係機関ネットワークを強化するため、支援連絡会(関係機関連絡会議)を開催し、ひきこもり等の生きづらさを抱えた人への支援がよりスムーズに、また本人のニーズに沿って多角的に対応できるようになることを目指します。	
4	基本目標 2	生きづらさを抱えた方やその家族の問題に対し、当事者支援を行いながら、地域住民への理解へ向けた取り組みをさらに進めます。	生きづらさを抱えた方の支援事業・地域共生型あがり事業の実施	・サポーター養成講座参加者:28名 ・サポーター登録:21名	・サポーターフォローアップ研修の開催(2回) ・出張相談会の開催(4回) ・当事者の居場所開催(26回) ・住民向け啓発セミナーの開催(1回)	・サポーターフォローアップ研修の開催(2回) ・出張相談会の開催(4回) ・当事者の居場所開催(ビニールハウスの居場所週1回、居場所24回、女子会6回、ひきこもり限定居場所2回、計32回) ・住民向け啓発セミナーの開催(1回) ・親の会(6回)		当事者の居場所では、「社会に役立ちながら対価を得る活動」として現状の「靴磨き」の受注先拡大と、異なる作業「洗車」「車椅子メンテ」など提案してみる。	急激な地域社会の変容によって生じている生きづらさを抱えた方を区社協・関係機関・サポーター(住民)が一体となって支援します。また、複数メニューを組み合わせながら、潜在的ニーズの掘り起こしも意識して事業を実施していきます。	
5	基本目標 2	関係機関とのネットワーク化を進め、協働型の災害ボランティアセンター体制整備を行います。	災害ボランティアセンター運営事業	災害研修会の実施(2回)	・災害ボランティアネットワーク会議立ち上げ(13名) ・ネットワーク会議開催(2回)	・災害ボランティアセンター設置訓練の実施(1回) ・ネットワーク会議の開催(3回)		各地区の避難訓練が終わった後の11月下旬から12月上旬ころにボランティアセンター設置訓練を、ネットワーク会議と相談しながら実施を目指す。会場は巻ふれあい福祉センターの予定。	災害ボランティアネットワーク会議で協議しながら、近年、区内で開催していなかった災害ボランティアセンター設置訓練を、「協働型」を念頭に置いて実施を推進します。	

取り組みについて(今年度重点的に取り組む内容や目標設定の考え方など)	取り組みの結果について(評価を踏まえた課題分析・方向性など)
<p>西蒲区社協では、下記を重点目標とし、事業展開を行っていきます。</p> <p>【住民主体の支え合う社会の実現】 地域福祉活動計画の実現に向け、地域に関わる多様な構成員の参画による座談会やアンケート調査等を実施して、計画の具体的取り組みを策定していきます。</p> <p>【地域福祉活動の担い手育成】 地域福祉の担い手となる人材育成に向け、「地域福祉活動応援協力員育成事業」等を実施します。</p> <p>【地域の中で自分らしく暮らせる仕組みの構築】 「社会的ひきこもり」や「8050問題」等の生きづらさを抱える方やその家族の問題に対し、居場所や出張相談、親の会などの当事者支援を行い、同時にサポーターフォローアップ研修・住民啓発セミナー実施して「社会的包摂」の浸透を図っていきます。</p> <p>【より張り巡らせた福祉ネットワークの構築】 一人ひとりの困りごとについて、感度を高めた身近な地域で気づき、専門職へつなぐ福祉ネットワークを構築するため、本会が持つプラットフォーム機能を有効活用していきます。</p>	